

取組大学：筑波大学（連携大学：東京医科歯科大学）
事業名称：ITを活用した小児周産期の高度医療人養成
～臨床研修と並行して進める遠隔教育プログラム～

取組概要

小児周産期医療に従事する研修医を対象に、茨城県内に設置された高速・大容量の情報通信ネットワークを活用した体系的なeラーニング講座とインテンシブコースによる技術指導を中心に据えた教育プログラムにより、①高度医療を担う産婦人科、小児科、小児外科の専門医、②実用化、産業化を見据えた新しい医療技術の開発や医療水準の向上を目指す研究医、③地域で総合的な小児在宅医療を構築できる臨床医の育成を目指す。

ITを活用した小児周産期の高度医療人養成～臨床研修と並行して進める遠隔教育プログラム～



取組内容

- ・eラーニングコンテンツの作成：240本
- ・ブロードバンドによるビデオカンファランスシステム：年間30回以上
- ・インテンシブコース
 - 新生児蘇生法講習会：91回
 - 小児科短期集中インテンシブコース（小児科ブートキャンプ）：15回
 - 多職種による周産期急変対応シミュレーション：3回
 - 小児在宅医療シンポジウム：2回 など

周産期急変対応シミュレーション



← 緊急救命室での母体緊急帝王切開演習

小児超音波ハンズオンセミナー



若手指導医が中心となり企画・実行 → 研修医教育とともに指導医も育成

取組実績

新規専攻医数	小児科：83名、産婦人科：54名、小児外科：5名
専門医取得者数	小児科専門医：73名、産婦人科専門医：50名 小児外科専門医：9名、周産期専門医：24名
学位取得者数	小児科：23名、産婦人科：50名、小児外科：2名
指導医の育成	新生児蘇生法インストラクター指導者：13名、周産期指導医：1名
臨床・研究両面からの小児周産期医療・小児在宅医療への貢献	

補助期間終了後の取組

- 1) 成育支援室の継続
- 2) ブロードバンドによる病院間連携とeラーニングによる遠隔教育の継続
- 3) インテンシブコースの継続
- 4) 新たな展開

小児周産期災害対応人材養成コースの創設
 多職種連携に拡大した小児周産期医療教育、小児在宅医療教育の実践
 適切な労務環境を維持した人材育成体制の確立